

令和4年10月21日

## 神奈川県ホッケー協会令和4年度第1回理事会議事録

1. 日 時：2022年10月19日（水）21:00～22:10

2. 会 場：Zoom 会議室

3. 出席者

当日出席：竹内副協会長、寺田理事長、齊藤常任理事、大塚常任理事、中桐常任理事、伊藤理事（法政 FAHC）、渡辺理事（ブルーウィングス）、薄川理事（防衛大女子）、末木理事（慶應高校）、中里監事、木下常任理事（事務局・議事録）、中澤成年男子監督（オブザーバー）

委任状提出：土屋常任理事、貝賀理事（横浜市大女子）、菅原理事（防衛大男子）

4. 理事長挨拶

5. 議 事

出席人数の確認：・当日出席理事 10名

・委任状提出 3名

・監事 1名

・オブザーバー 1名

理事計13名／18名の出席となり、会則第14条4項の規定に基づき、全理事の2分の1（9名）以上の出席により有効に開催成立することが確認された

議長：牧島協会長が欠席のため、寺田理事長が選出された

(1) 国体関東ブロック大会の結果報告について

〈報告事項〉

・寺田理事長（強化委員長）より内容について報告があった後、以下の発言があった。

末木理事（少年男子監督）：2回戦の対埼玉県戦では、0-4で敗退したが、0-10の総体関東予選（対飯能南高）と比べると善戦することができた。また、1名が新型コロナ濃厚接触者となったため、出場不可となった。なお、新型コロナの影響で遠征ができないことは課題であり、今後のジュニア強化学業の活用を含めて考えていきたい。

寺田理事長（成年女子監督代理）：競合相手に最低限に失点に抑えられた点は良かった。課題としては、練習場所の確保や練習相手としての女子強豪との繋がりが薄いこと等が挙げられる。

中澤オブザーバー（成年男子監督）：単年度の監督委任であり、過去と比較できないため、今年度の反省点は明言できないが、課題としては、選手層を厚くする必要があり、県下各チームの練習視察や少年種別から成年種

別への継続した育成のために少年種別との連携等が必要となると考えている。また、県協会としての目標や、少年女子種別は出場なしが続いている現状をどのように考えているかを明確にした方が良いと思う。理事会および常任理事会の開催頻度はどれほどなのか。なお、今年度のチームにおいて、戦術面では齊藤常任理事および岡田寛選手（慶応大OB）を中心としたメンバーの貢献が大きかった。

事務局：会則上、理事会は年4回程度を目安に開催すると定めがあり、常任理事会は開催頻度の定めはないが、理事会への上程前に常任理事会を経るのが一般的な流れなので、理事会以上の開催頻度となると認識している。

末木理事：少年および成年種別の連携とは。

中澤アドバイザー：高校生と成年種別の練習試合等を通じて、高校生が大学入学後もホッケーを続け、活躍を続けられるように成年男子種別の存在の認知をしてもらうことが必要だと考えている。

齊藤常任理事：中澤監督に計画的にチーム運営をしてもらえたおかげで、これまでは難しいと考えていた国体本選への出場権獲得が現実的なものに見える大会となった。今後、目標を定める必要があると思う。

伊藤理事：来年度に向けて目標等を定める場を設けたい。

中澤アドバイザー：今後、選抜チームおよび育成選手で通年の強化練習試合等を計画しているので、その場で話し合いを進めるのが良いかと思う。また、各理事においても強化練習の場に足を運んでもらって現状確認および話し合いをお願いしたい。

寺田理事長：承知した。これから継続して選抜チームの強化を行っていく旨の連絡を各チームに行う予定。

## (2) 今後の都市間交流スポーツ大会について

### 〈報告事項〉

- ・寺田強化委員長より内容について報告があり、以下の発言があった後、第20回大会終了後も都市間交流スポーツ大会を継続する方向で、寺田強化委員長を中心に協議調整を他都市と進めることとした。

大塚常任理事：助成金はどれくらい出ているのか。

事務局：他都市開催の場合は約10万が支給される。横浜市開催の場合は大会運営費約20万円の助成金支給に加え、会場費（今回は約30万円）を横浜市スポーツ協会が負担している。また、会場確保に問題がある。

中桐常任理事：法政木月グラウンドは大学施設のため、2か月前からでないとグラウンドの予約ができず、大学優先での予約となるため、大会開催の用途で一般予約することは難しい。

末木理事：慶応日吉グラウンドも予約は大学優先であるため、開催の都度、グラウンド

確保する約束はできない。

寺田理事長：過去に横浜市大グラウンドの日曜日一般貸出枠の使用可否を確認したことがあるが、土曜日に大学ホッケー部に優先貸し出ししているので日曜日はできるだけ他団体に貸し出したいとの回答があった。

伊藤理事：他都市での開催に限定して大会継続することはできないか。

寺田理事長：今後、他各都市と協議調整を進める。

### (3) その他報告事項

・事務局より以下の内容について報告があった。

- ① 10月20日に県スポーツ協会による令和3年度の助成金監査があり、本会より寺田理事長、末木理事および木下事務局長で対応を予定している。
- ② 8月より本会ホームページの運用を開始した。今後は理事会および総会の議事録掲載や県内大会の結果掲載等の情報の他、各種お知らせを予定している。HPの投稿はFacebookと連動しており、投稿があればFBのタイムラインに表示されるので、本会FBページをフォローするとともに、情報拡散の協力をお願いしたい。

### 議長が閉会を宣言

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和4年10月23日

議 長 寺田 達士 印